

<第115回キャンパス・サミット資料>

平成31年2月26日

社会環境学部「ビオトープ」及び新宮町「人丸公園ビオトープ」活動報告

坂井宏光

1. ビオトープ活動～ 社会環境学部の「ビオトープ」活動は、地域の自然環境の保全、再生・創生と環境人材育成を目的として平成18年3月に開始し、地域の皆様と学生達が継続的に自然観察会などで楽しく交流しています。

現在、次年度に向けてのビオトープ活動を計画中です。2019年度のビオトープ活動は4月29日(月)に第52回(春)、7月6日(土)に第53回(夏)、10月12日(土)に第54回(秋)、12月7日(土)に第55回(冬)の里山・ビオトープ自然観察会を4回開催する予定です。8月の和白東校区の夏祭りにも参加する予定です。また、今年度の学生の卒業研究では里山・ビオトープの生態系の調査研究をテーマにしたものが2件あり、関連研究は通算で24件ありました。

今年は暖冬の影響で雪が積もらず、里山・ビオトープ周辺は枯れた植物と緑が萌え出た美しい景観になっています。(下の写真、2月14日撮影) 草木は寒さに耐え、春に芽吹くための準備をしているのがわかります。



2. 新宮町「人丸公園ビオトープ」活動～ 2015(平成27)年度に新宮町60周年記念事業の中で計画整備され、2016年度から人丸公園ビオトープが一般に開放されています。2019年度も継続的に、学生たちが人丸公園ビオトープの生き物調査をしていきます。

2月18日の人丸公園ビオトープは、冬の澄んだきれいな景観で(写真、左)、生き物たちが徐々に春に向け活動を始めていました。例年同じ場所で産卵する希少種のカスミサンショウウオの卵塊を2カ所で見つけました(写真、中央左)。また、湿地の別の場所ではニホンアカガエルの卵塊を見つけました(写真、中央右)。ビオトープの中央にあるハンノキは徐々に成長し、10cm程の長い雄花序と小さな雌花序が美しく咲いていました(写真、右)。

